

工業外国語 I (English for Chemical Engineers I)	4 年・後期・1 学修単位 (β)・必修 物質化学工学科・担当 宇田 亮子	
[準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標] (2)		
<p>〔教育方法等〕 概要： 近年の科学技術の発展と情報のグローバル化に伴い、日本の技術者は、科学技術分野の専門英語（工業英語）を外国とのコミュニケーションの手段として使用する機会がますます増えている。本講義では、工業英語について、情報を機能的に伝達する手段として使いこなすための基礎力を養うことを目的とする。簡単な化学的事象を英語で表現するための講義と問題演習を行い進めてゆく。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 座学による講義が中心である。レポート課題を交えつつ、頻繁に小テストを行い各自の理解度を確認する。また、定期試験返却時に解説を行い、理解が不十分な点を解消する。</p> <p>注意点： 関連科目 英語、数学、化学など</p> <p>学習指針 化学で一般的に用いられる実験操作、図表の記述、データの表現などの基礎的な用語や表現方法を理解する練習を行う。</p> <p>自己学習 目標を達成するためには、授業以外にも復習を怠らないこと。また、毎回小テストの勉強をすること。</p>		
<p>〔教科書〕 適宜プリントを配布する。</p> <p>〔補助教材・参考書〕 なし</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 英語での数字の表現や図表の記述ができる 2) 適切な冠詞や主語に対応した動詞を選ぶことができる 3) 化学英語で頻繁に用いられる熟語を理解できる 4) 化学に関連する文章を読み理解し、化学英語で頻繁に用いられる言い回しを英文で表現できる 		
<p>〔評価割合〕 定期試験（60%）、授業中の演習及び小テスト（25%）、ノート作成（15%）で評価する。 また、授業態度は学習意欲を反映するため、授業中の私語や他の学生に迷惑となる行為などは、厳しく評価し減点の対象とする。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
後 期	1 週	数の読み方	分数、少数や数式、日常的な数を表現できる。	
	2 週	実験器具	実験器具の説明を理解できる。	
	3 週	図表の読み方	図表の記述の仕方や読み方を身につける。	
	4 週	図表の読み方	図表の記述の仕方や読み方を身につける。	
	5 週	主語と動詞の対応	化学英語で頻繁に用いられる動詞を適切に選ぶことができる。	
	6 週	主語と動詞の対応	化学英語で頻繁に用いられる動詞を適切に選ぶことができる。	
	7 週	冠詞	化学英語の文章中における冠詞を適切に選ぶことができる。	
	8 週	復習	これまで学習した内容を復習し、理解が不足しているところを補う	
	9 週	英文読解	化学に関連する文章を読み理解する	
	10 週	英文読解	化学に関連する文章を読み理解する	
	11 週	前置詞と熟語	化学英語で頻繁に用いられる熟語や、表現中における前置詞を理解できる。	
	12 週	前置詞と熟語	化学英語で頻繁に用いられる熟語や、表現中における前置詞を理解できる。	
	13 週	英文作成	化学英語で頻繁に用いられる言い回しを英文で表現できる	
	14 週	英文作成	化学英語で頻繁に用いられる言い回しを英文で表現できる。	
	15 週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる	
	16 週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する	

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった.